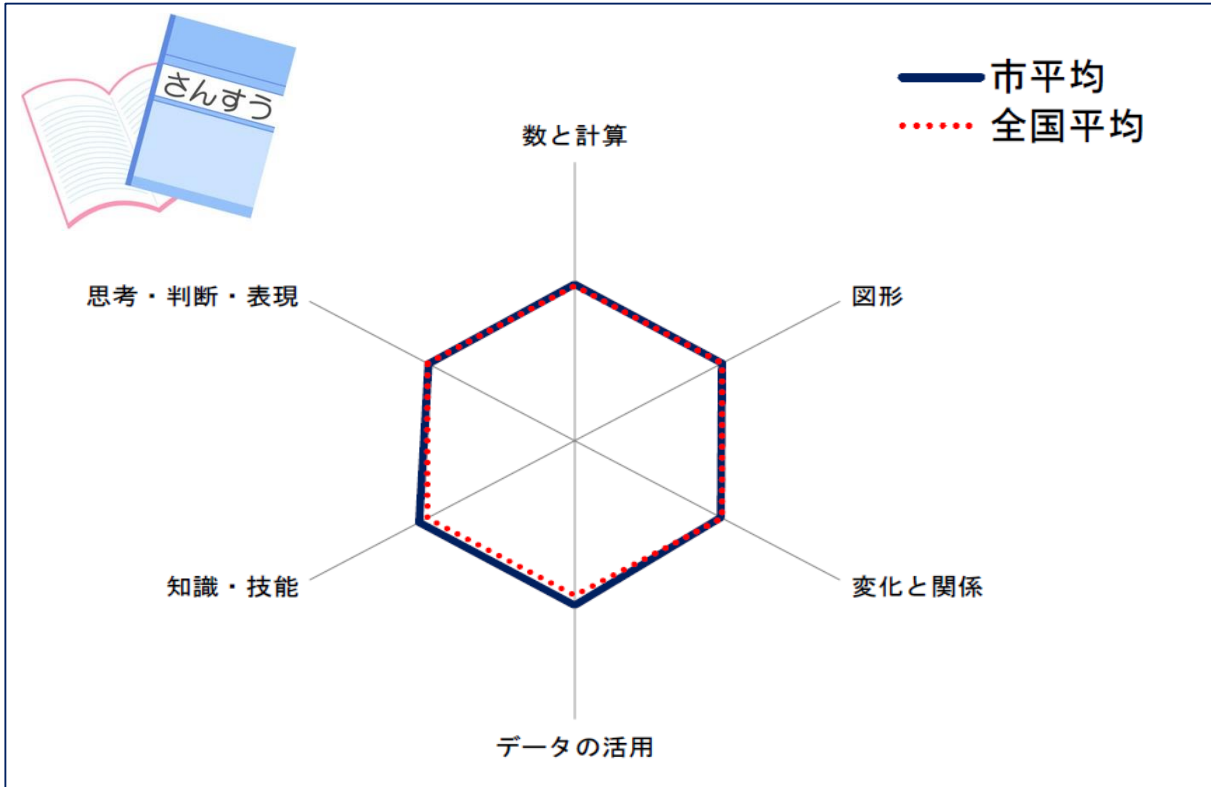




新居浜の小学生は、全体として「全国水準よりやや高い」調査結果でした。



領域別では「データの活用」、観点別では「知識・技能」の平均正答率が、全国と比べやや高い結果となりました。

「データの活用」領域の、「折れ線グラフを読み取り、読み取ったことを言葉と数を使って表現する」問題の正答率が、全国や県と比べ高い結果となりました。普段から、資料の読み取りを大切に授業をしている成果です。

どの問題についても無解答率が全国と比べて低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が感じられました。

「図形」領域の「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く」問題は正答率が低かったです。図形の体積の求め方がしっかり身に付くよう、授業や繰り返しの練習の中で、条件を活用して解く応用問題にも取り組んでいきます。問題の中から必要な情報を判断できる見方を養っていきます。

問題や示された条件が長文の場合、丁寧な読み取りや判断ができるように、また基礎的なことを活用して解答ができるように、普段の授業でもそのような問題に取り組みます。

よくできていた算数問題

結果を受け取ってほしいから

